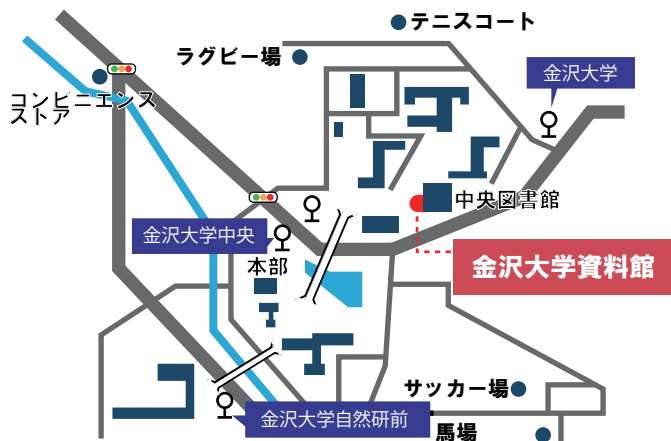


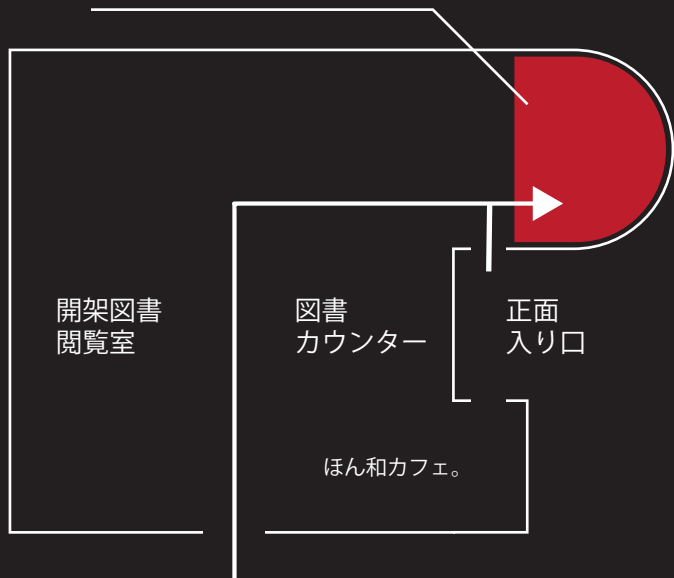
金沢大学角間キャンパス 広域図



令和元年度金沢大学資料館特別展
金沢大学資料館 30年の歩み
“1989—2019”

・JR金沢駅からバスで約40分です。金沢駅兼六園口（東口）6番乗り場から「金沢大学（角間）」行きにご乗車ください。（路線番号：93・94・97）
 「金沢大学中央」バス停下車、徒歩5分です。

資料館展示室



- 展示室は、正面入り口の右側です。
- 資料館事務室にご用の方は、図書カウンターにお申し出ください。



令和元年度金沢大学資料館特別展
金沢大学資料館 30年の歩み
“1989—2019”

令和元年9月4日（水）～10月28日（月）
 金沢大学資料館展示室（角間キャンパス北地区）

協 力：金沢大学埋蔵文化財調査センター
 開館時間：平日午前10時～午後4時30分
 土日午前9時30分～午後4時
 〈10/5～6, 12, 10/19～20, 10/26～27〉

休 館 日：9月の土日祝、10月13, 14, 22日
 問合せ先：金沢大学資料館 076-264-5215



金沢大学資料館は、かつて金沢大学のメインキャンパスが置かれていた金沢城址から角間への移転に際して、貴重な歴史資料や学術研究資料を系統的に収集・保存し研究・教育に資することを目的として、1989（平成元年）年4月に設立され、本年で30周年を迎えました。この間、資料館は資料の収集・整理・保存につとめ、現在約88,000点（モノ資料77,000点 文書資料11,000点）の資料を有しています。収蔵資料には、加賀藩校「明倫堂」及び「経武館」の扁額や前身校の一つである旧制第四高等学校由来の物理実験機器群など非常に貴重な多くの資料が含まれております。中でも「明倫堂」「経武館」の扁額は、金沢市の有形文化財に指定されており、藩校の扁額としては日本でも最大級のものであります。

これまで金沢大学資料館では、これらの資料を一般の方々に広くご覧いただくとともに、学生への自校教育を目的として、さまざまな企画展示や講演会を開催してまいりました。また、展示室での展覧会のほか、金沢城内での写真展や石川四高記念文化交流館でのアウトリーチ展も実施しております。

平成28年には、北陸地域の大学で初めて文部科学大臣から「博物館相当施設」に指定されました。さらに、本年8月8日には、資料館展示室への累計入館者数10万人を達成することができました。

このたびの特別展「金沢大学資料館30年の歩み“1989-2019”」では、この30年間に、金沢大学資料館が開催した企画展や特別展を中心に、どのようなコンセプトで何を展示してきたかを一挙にご紹介することといたしました。ご来館の皆様には、旧制第四高等学校をはじめとする前身校から受け継がれたさまざまな出展資料を、時間の許す限りご覧いただき、金沢大学が継承してきた歴史を実感いただくとともに、金沢大学資料館の意義をご理解いただき、今後とも応援していただければ幸いに存じます。

最後に、本展覧会の開催に当たって、金沢大学埋蔵文化財調査センターをはじめ多くの方々にご協力をいただきました。ここに、心から御礼申し上げます。

令和元年9月4日
金沢大学資料館長 奥野正幸

